

問

若者参加のまちづくりの方向性は

町長 具体化に向け検討を続ける

問 町民の30%を占める若い世代は、これまでどのようにまちづくりに参加してきたか。

答 している。

子ども議会

町長 訓子府中学校では地域学習「訓子府PR体験」に関連して、修学旅行先で町を紹介した手作りのパンフレットを配布しPRした。

問 地域社会への参加機会を設けるため、子ども議会に取り組み考えは。

答 町長 貴重な社会参加や学習の機会であるが、議会の質問に立つまで相当な準備を要することから、学校などの協力や調整を得なければ難しいのが現状である。



中学生に傍聴を

答 町長 子どもにとっても、町にとってもメリットのある取り組みである。課題をクリアして実現できている町も多い。一歩前進のために傍聴してもらおう考えは。

問 子どもたちからも意見

答 町長 過去に何度か町職員から提案を集める機会があった。

問 子どもたちからも意見

ながら近い将来、まずは議会の傍聴から進めていきたい。

問 若者ならではの着眼点で斬新なアイデアを実現させるため、若者議会に予算をつける考えはないか。

町長 まちづくり推進会議には24名中6名の若者がおり、その会議の中で意見を吸い上げていくと考えている。

町民提案制度

問 まちづくりに関することならジャンルを問わず、町民誰でも参加できる提案制度に取り組む考えは。

町長 過去に何度か町職員から提案を集める機会があった。

問 子どもたちからも意見

町長 子どもたちからも意見

町長 他の町では議会形式の他にも、まちづくり委員会を設けながらバスを借り上げて視察に行ったり、観光マップを作り提案をするケースもあるようだ。

問 どのような形式や運営方法が有効であるのか、各関係者なども含め総合的な観点に立ち検討していく。

今後のまちづくり

問 将来に向けて、若い世代を巻き込んだまちづくりの方向性は。

町長 時代が変化しており大変苦慮しているが、若い世代を主体者としたまちづくりの具体化に向けて検討を続けていく。



いづみ ゆみ 議員 泉 美 議員

〇〇の秋色々あるけどやっぱり食欲の秋😊

